

# Hoot

としょかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

はおよすみ

担当：オ

こんげつ もよお  
今月の催し

<p>としょかんおはなし会<sup>かい</sup></p> <p>0～3さいむけ</p> <p>えほん<sup>て</sup>と手あそびのおはなし会<sup>かい</sup></p>	<p>1月 9日（金） ・ 25日（日）</p> <p>11：00～11：20 【3F視聴覚<sup>しちょうかく</sup>ホール】</p>
<p>としょかんおはなし会Qぽくぽく<sup>かい</sup></p> <p>～うまどしSPECIAL～</p>	<p>1月 11日（日）</p> <p>11：00～11：30 【3F視聴覚<sup>しちょうかく</sup>ホール】</p> <p>「ロバくんののみみ」（えほん）／じゃこかい（おてだま）ほか</p>
<p>まめまめわらべうたの会<sup>かい</sup></p> <p>あかちゃんといっしょに</p> <p>きせつのわらべうたであそびましょう</p>	<p>1月 17日（土）</p> <p>11：00～11：20 【3F視聴覚<sup>しちょうかく</sup>ホール】</p> <p>ゆきと おもちの わらべうた</p>
<p>としょかんおはなし会<sup>かい</sup></p> <p>えほん<sup>て</sup>と手あそびのおはなし会<sup>かい</sup></p>	<p>1月 24日（土）</p> <p>11：00～11：30 【3F視聴覚<sup>しちょうかく</sup>ホール】</p>

ぽくぽく すごろく・かるた会<sup>かい</sup>

2026年1月18日（日） ごご1：30～

としょかん 3かい<sup>しちょうかく</sup> 視聴覚ホール

えほん<sup>ものがたり</sup> しゅじんこう<sup>どうじょう</sup>  
絵本や物語の主人公たちが登場する

かるたとすごろく<sup>あそ</sup>で遊びましょう！

ころころ まめまつり

2026年2月1日（日）

せつぶん<sup>かい</sup>  
節分にちなんだ、おはなし会などの

イベントです。オニがくるかも！？

くわ  
詳しくはチラシをみてね。

# あたらしくはいったほん

かしだし中のときは「よやく」しておくことができます。

## 〔やさしいえほん〕



### 「さかなをたべたあとのほね」

加藤休ミ／さく

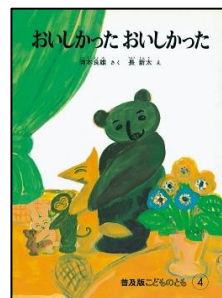
福音館書店（やさしいE本 E/24/サ）

じゅうっとやいた、イワシをたべます。

あとにのこるのは、わしゃわしゃ、ほそいほね。

いろんなさかなの、いろんなほねを見てみましょう。

## 〔えほん〕



### 「おいしかったおいしかった」

岡本良雄／さく 長新太／え

福音館書店（E/26/オ）

クマは、ぶどうを持って病気のキツネのお見舞いに向かう途中、  
お腹を空かせたサルに会います。ぶどうを半分もらったサルは、  
近道して自分もキツネのお見舞いにいこうとしますが……？



### 「冬にやってきた春と夏と秋」

ジョナサン・フリードランド／文 エミリー・サットン／絵

さくまゆみこ／訳 徳間書店（E/32/フ）

冬の王様は、誕生日に、長い間あっていないきょうだい達を  
呼ぶことにしました。春の女王、夏の王、秋の女王です。  
太陽や風、草や木が止めましたが、王様は聞く耳を持ちません。  
四つの季節が同時に訪れた世界はどうなるのでしょうか。

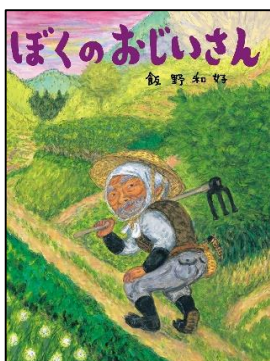


### 「ひぐま」

あべ弘士／作

ブロンズ新社（E/26/ヒ）

秋。森はドングリ、ヤマブドウ、キノコでいっぱいです。  
冬に備えて、ひぐまはとても忙しそう。たくさん食べて、  
冬眠のために栄養をつけないといけません。  
寒くなり、雪が降ります。ひぐまはどうしているのでしょうか。

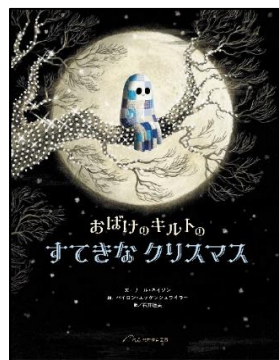


### 「ぼくのおじいさん」

飯野和好／作

偕成社（E/30/ホ）

いつも畑仕事をしている、ぼくの大好きなおじいさん。  
明治の時代に生まれたおじいさんは、しわがいっぱい。  
山の中で暮らす、ぼくとおじいさんの日々を描いた絵本です。



### 「おばけのキルトのすてきなクリスマス」

リール・ネイツ／文 バイロン・エッグンシュワイラー／絵

石井睦美／訳 光村教育図書（クリスマスの本 E/29/オ）

12月の夜。おばけのキルトは、にんげんの町を訪れました。  
そこで目にしたのは、色とりどりの光と、にぎわう人々。  
キルトは、家にいる友だちに、ツリーを見せようと考えます。

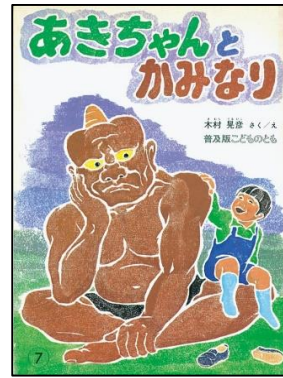


「クリスマスにはくつしたをおわすれなく」

角野栄子／さく 菊池恭子／え

福音館書店 (E/26/ク)

ナナさんは、編み物屋さんです。冬になると、サンタクロースにプレゼントを入れてもらう靴下の注文を受けています。今年も、たくさんの森の動物が靴下を頼みにやってきました。



「あきちゃんとかみなり」

木村晃彦／さく・え

福音館書店 (E/26/ア)

あきちゃんは、とてもよわむしで、いつも泣いています。あきちゃんの泣きごえを聞きつけて、空からかみなりが降りてきました。あきちゃんのおへそを取りにやってきたのです。

「ちしきえほん」



「たねはいのちのおわりとはじまり」

鈴木純／著

ブロンズ新社 (ちしき絵本 E/27/タ/4)

地面に落ちた種から、上へ葉っぱが、下へ根っこがのびていきます。一年で枯れる小さなナズナも、長く生きて大きくなるケヤキも、一粒のたねからいのちが始まります。



「そらのにじいろ」

荒木健太郎／文・写真・絵

金の星社 (ちしき絵本 E/25/ソ/4)

雨が降っていないのに、空に現れるにじ。彩雲、光環、環水平アーク、ハロ……、晴れた空に浮かぶ珍しいにじの種類や、その仕組みを写真で解説します。

「にほんのものがたり」

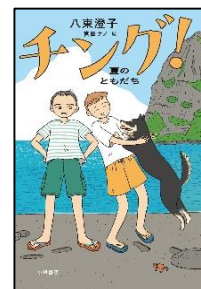


「花に風」

吉野万理子／作

理論社 (K913/ヨ)

夏帆は小学四年生。最近通い始めたいけばな教室に、ちょっと苦手な六年生の先輩がいます。いけばなのレッスンは楽しいのに、先輩から花のいけ方や態度を指摘され、もやもやの日々。そんな中、華道の発表会で先輩と同じ班になってしまい……？



「チング！ 夏のともだち」

八束澄子／作

小峰書店 (K913/ヤ)

夏休み、ひょんなことから父親と二人で韓国へ旅することになった、小学五年生の幹太。目的地は、世界遺産の山があるチェジュ島です。長距離バスやフェリーを乗り継ぐ韓国縦断の旅で、幹太はたくさんの人や文化に触れます。



〔ちしき〕



「わたしは書体デザイナー」

高田裕美／著

Gakken（K007）

わたしたちの身の回りにはたくさんの文字があふれています。この文字を、使われる場面を思い浮かべながら、同じ雰囲気をもたせてデザインしたものを「書体」といいます。書体はどのような思いで作られているのでしょうか？



「生きものくらそう！ 7」 ハムスター

国土社編集部／編集 三輪恭嗣／監修

国土社（K645）

可愛くて人気のハムスター。飼育スペースもそれほどとらず、飼い方も難しくありません。しかし、ハムスターは小さく、臆病な動物です。この本でハムスターと仲良くなるコツをつかみましょう。



「働く現場をみてみよう！ 大きいもの・小さいものをつくる仕事」

パ－ソールデ－ィングス株式会社／監修

保育社（K366）

目には見えないほど小さなものから、見上げるほど大きなものまで、大小を問わず、それぞれの技術者たちの工夫や情熱が注がれています。大きさをこえた「ものづくり」の世界をのぞいてみましょう。

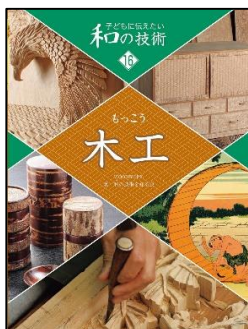


「開運えんぎもの図鑑」

高野紀子／作

あすなろ書房（K387）

良いことが起こるようにと願いを込めた物事を指す、縁起物。縁起物は私たちの生活に深く根付いています。だるま、招き猫、おせち料理などの目に見えるものから、縁起のいい数字、色、音など……全250種類の縁起物をイラストで紹介します。



「子どもに伝えたい和の技術」木工

和の技術を知る会／著

文溪堂（K502）

昔ながらの技を脈々と受け継ぎ進化させてきた木工技術。現在では、コンピューターや機械を活用した新しい木工も盛んで、用途や目的に応じて選択の幅が広がっています。木工の種類や歴史、技を知り、日本文化の奥深さを感じましょう。



「痛みって何だろう？」 人体のひみつをさぐろう

加藤実／監修

PHP研究所（K491）

痛みはどのように生じ、伝達されるのか。その痛みを体はどのようにして抑えているのか……など、痛みについてわかりやすく解説します。